

6月

みんなくウィークエンド・サロン

# 研究者と話そう

■展示観覧料が必要です。  
※都合により、予定を変更することがあります。

国立民族学博物館（みんなく）の研究者が来館された皆様の前に登場します！  
「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、  
話題や内容は実に多彩。  
どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

3日  
(11月11日)

時間：11時から12時  
話者：久保正敏（国立民族学博物館 教授）  
話題：民博の考現学遺伝子  
会場：特別展示館

10日  
(11月11日)

時間：14時30分から15時30分  
話者：杉本尚次（国立民族学博物館 名誉教授）  
話題：民俗建築学者群像：今和次郎を中心として  
会場：本館展示場（ナビひろば）

17日  
(11月11日)

時間：14時30分から15時30分  
話者：久保正敏（国立民族学博物館 教授）  
高橋晴子（大阪樟蔭女子大学 教授・元客員教授）  
話題：近代日本の洋装ときもの  
会場：本館展示場（ナビひろば）

24日  
(11月11日)

時間：14時30分から15時30分  
話者：野林厚志（国立民族学博物館 教授）  
話題：民博流探究のすすめ  
会場：本館展示場（ナビひろば）

## 1年間みんなくに何度でも入館できる 「みんなくフリーパス(3,000円)」をご利用ください。

本館展示は何度でも無料で入館できます。他にも、みんなくを楽しむための特典がいっぱいあります。

- 特典◆本館展示の無料入館◆特別展示の観覧料割引
  - ◆みんなくミュージアム・ショップとレストランの10%割引
  - ◆万博記念公園内および周辺施設での利用割引 など。
- 詳細については、財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
(電話06-6877-8893/平日9:00～17:00)

## 編集後記

正直なはなし、ヨーロッパへの漠然としたあこがれは、以前はわたしもふくめ、だれにしも多少はあったとおもう。しかし近年、自身の調査やさまざまなメディアを通じ、ヨーロッパ各地での貧困や混乱、暴力など、あこがれのヨーロッパらしからぬ側面に触れるなかで、それまで抱いてきたイメージがかなり修正されてきたことは間違いのない。それだけ相対化されたヨーロッパ像が一般にも浸透し、単なるあこがれや礼賛の目ではなく、客観的な目で観察する余裕ができたともいえよう。民博のオープンから今日までの30余年がまさにそのような時期であった。とはいえ、今日もヨーロッパを訪れるものにとって、特に重厚で歴史観にみちた都市の造り、成熟した市民意識の存在には、やはり圧倒されることもしばしばある。展示には、展示されるものと同時に展示する主体も反映されるという。ならば今回のヨーロッパ展示には、何が映っているのだろうか。展示を担当したひとりとして、ぜひ知りたいところである。(庄司博史)

●表紙：ヨーロッパ各地のパン（複製）。いずれも妻を材料とするが、食され方は地域によってさまざま。ヨーロッパ展示場で展示中。

## 次号の予告

特集

## 世界をさわる手法を求めて ユニバーサル・ミュージアムの可能性(仮)

月刊みんなく 2012年6月号

第36巻第6号通巻第417号 2012年6月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
電話 06-6876-2151

発行人 八杉佳穂  
編集委員 庄司博史（編集長） 樫永真佐夫 久保正敏  
菅瀬晶子 山中由里子  
編集アドバイザー 山内直樹  
デザイン 宮谷一敦  
制作・協力 財団法人 千里文化財団  
印刷 日本写真印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に  
お願いします。  
\*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

## 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分（茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）
- 自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通ください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。



みんなくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

